【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公開番号】特開2007-249429(P2007-249429A)
【公開日】平成19年9月27日(2007.9.27)
【年通号数】公開・登録公報2007-037
【出願番号】特願2006-69881(P2006-69881)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　６２５
Ｇ０６Ｆ　13/00　　６４０

【手続補正書】
【提出日】平成21年3月11日(2009.3.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
入力する文書情報を解析し、前記文書情報を構成する要素である文書構成要素を抽出する解析手段と、
前記入力する文書情報を前記解析手段によって抽出される文書構成要素単位で表示する入力モジュール、および電子メールの編集画面を表示する電子メールモジュールの２つの表示モジュールを表示し、前記入力モジュールで表示される文書構成要素に対して、表示する前記電子メールモジュールの表示画面から、編集および各種の設定を受け付ける操作表示手段と、
前記操作表示手段が、前記電子メールモジュールの表示画面から受け付けた前記編集および各種の設定に基づいて、前記文書構成要素に対して編集処理を施す編集手段と、
前記操作表示手段が表示する電子メールモジュールの内容を電子メールで送信する送信手段と、
を備え、
前記操作表示手段は、前記編集手段によって前記文書構成要素に施された編集および設定処理の結果を、前記電子メールモジュールに表示するものであり、
前記送信手段は、前記入力する文書情報を電子ファイルとして前記電子メールに添付して送信するものであることを特徴とする電子メール編集装置。
【請求項２】
前記操作表示手段は、前記入力モジュールおよび電子メールモジュールを、並列して表示するものであることを特徴とする請求項１のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項３】
原稿を読み込んで文書情報を生成する読込手段を、さらに備え、
前記解析手段は、前記読込手段が生成する文書情報を解析して前記文書構成要素を抽出するものであることを特徴とする請求項１～２のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項４】
前記解析手段は、前記文書情報を、文字、写真画像、中間調画像、図表画像、およびそ

の他の属性のうちいずれの属性の文書構成要素からなるかを解析するものであることを特徴とする請求項１～３のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項５】
前記操作表示手段は、前記解析手段が解析する前記文書情報を、前記２つの表示モジュールにおいて、前記文書構成要素単位で配置するものであることを特徴とする請求項１～４のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項６】
前記操作表示手段は、前記入力モジュールに表示される文書構成要素単位で、前記電子メールモジュールの電子メール本文に配置する要求を受け付けるものであることを特徴とする請求項１～５のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項７】
前記操作表示手段は、前記入力モジュールに表示される文書構成要素単位で、前記電子メールにファイルとして添付する要求を受け付け、
前記送信手段は、前記電子メールを添付されたファイルとともに送信するものであることを特徴とする請求項１～６のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項８】
前記操作表示手段は、前記文書構成要素の占める領域を表示する領域表象を表示するものであることを特徴とする請求項１～７のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項９】
前記操作表示手段は、前記領域表象を、それぞれの文書構成要素を囲む矩形によって表示するものであることを特徴とする請求項８に記載の電子メール編集装置。
【請求項１０】
前記操作表示手段は、前記入力モジュールで表示される文書構成要素を、前記電子メールモジュールへ挿入する挿入要求を受け付けた場合、前記挿入要求を受け付けた要素の順番に基づいて、前記電子メールモジュールでの画面に配置させるものであることを特徴とする請求項１～９のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項１１】
前記操作表示手段は、前記入力する文書情報のうち、前記解析手段が解析する文字情報を、前記電子メールモジュールでの本文画面に配置するものであることを特徴とする請求項４～１０のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項１２】
前記操作表示手段は、前記入力する文書情報のうち、前記解析手段が解析する文字情報以外を、前記電子メールモジュールでの添付ファイルに生成して添付し、該添付を表示し、
前記送信手段は、前記電子メールモジュールでの表示内容に、前記添付ファイルを添付して送信するものであることを特徴とする請求項４～１１のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項１３】
前記操作表示手段は、前記文字情報を、画像情報の形式で前記電子メールモジュールでの添付ファイルに生成して添付し、該添付を表示し、
前記送信手段は、前記電子メールモジュールでの表示内容に、前記添付ファイルを添付して送信するものであることを特徴とする請求項４～１２のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項１４】
前記操作表示手段は、前記電子メールに添付される前記添付ファイルのアイコン情報を生成して前記電子メールモジュールにおいて当該アイコンを表示するものであることを特徴とする請求項１２または１３に記載の電子メール編集装置。
【請求項１５】
前記操作表示手段は、前記入力モジュールで表示される文書構成要素を、前記本文画面に配置する要求、および添付ファイルを生成して添付する要求の少なくともいずれかを、

ドラッグアンドドロップ操作によって受け付けるものであることを特徴とする請求項１～１４のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項１６】
前記操作表示手段は、前記本文画面に配置する要求およびファイルとして添付する要求を、前記入力モジュールの表示において、それぞれシングルクリック操作およびダブルクリック操作によって受け付けるものであることを特徴とする請求項１～１５のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項１７】
前記操作表示手段は、前記本文画面に配置する要求およびファイルとして添付する要求を、前記入力モジュールの表示において、それぞれダブルクリック操作およびシングルクリック操作によって受け付けるものであることを特徴とする請求項１～１５のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項１８】
前記送信手段は、前記電子メールモジュールの本文に画像が配置されていると判定する場合、前記電子メールをＨＴＭＬ形式で送信し、かつ、テキスト情報のみであると判定する場合、前記電子メールをテキスト形式で送信するものであることを特徴とする請求項１～１７のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項１９】
前記解析手段は、前記文書情報から電子メールアドレス情報を解析し、
前記送信手段は、送信者および受信者のリスト情報を有し、前記解析手段によって解析された送信者および受信者の情報を前記リスト情報に書き込むものであることを特徴とする請求項１～１８のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項２０】
前記解析手段は、前記文書情報から送信先の電子メールアドレス情報を解析し、
前記送信手段は、前記解析手段によって解析された送信先の電子メールアドレスに、前記電子メールを送信するものであることを特徴とする請求項１～１９のいずれか１つに記載の電子メール編集装置。
【請求項２１】
原稿を読み取って文書情報を生成する読取手段と、
読取手段が生成する文書情報を入力し、電子メールを生成して送信する電子メール編集装置と、
読み取った文書情報を画像として出力する画像形成手段と、
を備えた画像形成装置であって、
前記電子メール編集装置は、
入力する前記文書情報を解析し、前記文書情報を構成する要素である文書構成要素を抽出する解析手段と、
前記入力する文書情報を前記解析手段によって抽出される文書構成要素単位で表示する入力モジュール、および電子メールの編集画面を表示する電子メールモジュールの２つの表示モジュールを表示し、前記入力モジュールで表示される文書構成要素に対して、表示する前記電子メールモジュールの表示画面から、編集および各種の設定を受け付ける操作表示手段と、
前記操作表示手段が前記電子メールモジュールの表示画面から受け付けた前記編集および各種の設定に基づいて、前記文書構成要素に対して編集処理を施す編集手段と、
前記操作表示手段が表示する電子メールモジュールの内容を電子メールで送信する送信手段と、
を有し、
前記操作表示手段は、前記編集手段によって前記文書構成要素に施された編集および設定処理の結果を、前記電子メールモジュールに表示するものであり、
前記送信手段は、前記入力する文書情報を電子ファイルとして前記電子メールに添付して送信するものであることを特徴とすることを特徴とする画像形成装置。

【請求項２２】
電子メール編集装置における電子メール編集方法であって、
解析手段によって、入力する文書情報を解析し、前記文書情報を構成する要素である文書構成要素を抽出する解析工程と、
操作表示手段によって、前記入力する文書情報を前記解析工程によって抽出される文書構成要素単位で表示する入力モジュール、および電子メールの編集画面を表示する電子メールモジュールの２つの表示モジュールを表示する表示工程と、
前記表示工程で表示される前記入力モジュールの文書構成要素に対して、表示する前記電子メールモジュールの表示画面から、編集および各種の設定を受け付ける受付工程と、
前記受付工程が前記電子メールモジュールの表示画面から受け付けた前記編集および各種の設定に基づいて、前記文書構成要素に対して編集処理を施す編集工程と、
前記表示工程で表示される電子メールモジュールの内容を電子メールで送信する送信工程と、
を含み、
前記表示工程は、前記編集工程によって前記文書構成要素に施された編集および設定処理の結果を、前記電子メールモジュールに表示するものであり、
前記送信工程は、前記入力する文書情報を電子ファイルとして前記電子メールに添付して送信するものであることを特徴とする電子メール編集方法。
【請求項２３】
請求項２２に記載の電子メール編集方法をコンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上述した課題を解決し、目的を達成するために、請求項１にかかる発明は、電子メール編集装置において、入力する文書情報を解析し、前記文書情報を構成する要素である文書構成要素を抽出する解析手段と、前記入力する文書情報を前記解析手段によって抽出される文書構成要素単位で表示する入力モジュール、および電子メールの編集画面を表示する電子メールモジュールの２つの表示モジュールを表示し、前記入力モジュールで表示される文書構成要素に対して、表示する前記電子メールモジュールの表示画面から、編集および各種の設定を受け付ける操作表示手段と、前記操作表示手段が、前記電子メールモジュールの表示画面から受け付けた前記編集および各種の設定に基づいて、前記文書構成要素に対して編集処理を施す編集手段と、前記操作表示手段が表示する電子メールモジュールの内容を電子メールで送信する送信手段と、を備え、前記操作表示手段は、前記編集手段によって前記文書構成要素に施された編集および設定処理の結果を、前記電子メールモジュールに表示するものであり、前記送信手段は、前記入力する文書情報を電子ファイルとして前記電子メールに添付して送信するものであることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】削除
【補正の内容】

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
請求項２にかかる発明は、請求項１のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記入力モジュールおよび電子メールモジュールを、並列して表示するものであることを特徴とする。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
請求項３にかかる発明は、請求項１～２のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、原稿を読み込んで文書情報を生成する読込手段を、さらに備え、前記解析手段は、前記読込手段が生成する文書情報を解析して前記文書構成要素を抽出するものであることを特徴とする。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
請求項４にかかる発明は、請求項１～３のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記解析手段は、前記文書情報を、文字、写真画像、中間調画像、図表画像、およびその他の属性のうちいずれの属性の文書構成要素からなるかを解析するものであることを特徴とする。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】
請求項５にかかる発明は、請求項１～４のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記解析手段が解析する前記文書情報を、前記２つの表示モジュールにおいて、前記文書構成要素単位で配置するものであることを特徴とする。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
請求項６にかかる発明は、請求項１～５のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記入力モジュールに表示される文書構成要素単位で、前記電子メールモジュールの電子メール本文に配置する要求を受け付けるものであることを特徴とする。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１５】
請求項７にかかる発明は、請求項１～６のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記入力モジュールに表示される文書構成要素単位で、前記電子メールにファイルとして添付する要求を受け付け、前記送信手段は、前記電子メールを添付されたファイルとともに送信するものであることを特徴とする。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
請求項８にかかる発明は、請求項１～７のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記文書構成要素の占める領域を表示する領域表象を表示するものであることを特徴とする。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
請求項９にかかる発明は、請求項８に記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記領域表象を、それぞれの文書構成要素を囲む矩形によって表示するものであることを特徴とする。
【手続補正１３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
請求項１０にかかる発明は、請求項１～９のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記入力モジュールで表示される文書構成要素を、前記電子メールモジュールへ挿入する挿入要求を受け付けた場合、前記挿入要求を受け付けた要素の順番に基づいて、前記電子メールモジュールでの画面に配置させるものであることを特徴とする。
【手続補正１４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１９】
請求項１１にかかる発明は、請求項４～１０のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記入力する文書情報のうち、前記解析手段が解析する文字情報を、前記電子メールモジュールでの本文画面に配置するものであることを特徴とする。
【手続補正１５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
請求項１２にかかる発明は、請求項４～１１のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記入力する文書情報のうち、前記解析手段が解析する文字情報以外を、前記電子メールモジュールでの添付ファイルに生成して添付し、該添付を表示し、前記送信手段は、前記電子メールモジュールでの表示内容に、前記添付ファイルを添付して送信するものであることを特徴とする。
【手続補正１６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２１】
請求項１３にかかる発明は、請求項４～１２のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記文字情報を、画像情報の形式で前記電子メールモジュールでの添付ファイルに生成して添付し、該添付を表示し、前記送信手段は、前記電子メールモジュールでの表示内容に、前記添付ファイルを添付して送信するものであることを特徴とする。
【手続補正１７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２２】
請求項１４にかかる発明は、請求項１２または１３に記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記電子メールに添付される前記添付ファイルのアイコン情報を生成して前記電子メールモジュールにおいて当該アイコンを表示するものであることを特徴とする。
【手続補正１８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２３】
請求項１５にかかる発明は、請求項１～１４のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記入力モジュールで表示される文書構成要素を、前記本文画面に配置する要求、および添付ファイルを生成して添付する要求の少なくともいずれかを、ドラッグアンドドロップ操作によって受け付けるものであることを特徴とする。
【手続補正１９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２４】
請求項１６にかかる発明は、請求項１～１５のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記本文画面に配置する要求およびファイルとして添付する要求を、前記入力モジュールの表示において、それぞれシングルクリック操作およびダブルクリック操作によって受け付けるものであることを特徴とする。

【手続補正２０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２５】
請求項１７にかかる発明は、請求項１～１５のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記操作表示手段は、前記本文画面に配置する要求およびファイルとして添付する要求を、前記入力モジュールの表示において、それぞれダブルクリック操作およびシングルクリック操作によって受け付けるものであることを特徴とする。
【手続補正２１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２６】
請求項１８にかかる発明は、請求項１～１７のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記送信手段は、前記電子メールモジュールの本文に画像が配置されていると判定する場合、前記電子メールをＨＴＭＬ形式で送信し、かつ、テキスト情報のみであると判定する場合、前記電子メールをテキスト形式で送信するものであることを特徴とする。
【手続補正２２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２７】
請求項１９にかかる発明は、請求項１～１８のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記解析手段は、前記文書情報から電子メールアドレス情報を解析し、前記送信手段は、送信者および受信者のリスト情報を有し、前記解析手段によって解析された送信者および受信者の情報を前記リスト情報に書き込むものであることを特徴とする。
【手続補正２３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
請求項２０にかかる発明は、請求項１～１９のいずれか１つに記載の電子メール編集装置において、前記解析手段は、前記文書情報から送信先の電子メールアドレス情報を解析し、前記送信手段は、前記解析手段によって解析された送信先の電子メールアドレスに、前記電子メールを送信するものであることを特徴とする。
【手続補正２４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２９】
請求項２１にかかる発明は、原稿を読み取って文書情報を生成する読取手段と、読取手段が生成する文書情報を入力し、電子メールを生成して送信する電子メール編集装置と、読み取った文書情報を画像として出力する画像形成手段と、を備えた画像形成装置であっ

て、前記電子メール編集装置は、入力する前記文書情報を解析し、前記文書情報を構成する要素である文書構成要素を抽出する解析手段と、前記入力する文書情報を前記解析手段によって抽出される文書構成要素単位で表示する入力モジュール、および電子メールの編集画面を表示する電子メールモジュールの２つの表示モジュールを表示し、前記入力モジュールで表示される文書構成要素に対して、表示する前記電子メールモジュールの表示画面から、編集および各種の設定を受け付ける操作表示手段と、前記操作表示手段が前記電子メールモジュールの表示画面から受け付けた前記編集および各種の設定に基づいて、前記文書構成要素に対して編集処理を施す編集手段と、前記操作表示手段が表示する電子メールモジュールの内容を電子メールで送信する送信手段と、を有し、前記操作表示手段は、前記編集手段によって前記文書構成要素に施された編集および設定処理の結果を、前記電子メールモジュールに表示するものであり、前記送信手段は、前記入力する文書情報を電子ファイルとして前記電子メールに添付して送信するものであることを特徴とする。

【手続補正２５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３０
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３１】
請求項２２にかかる発明は、電子メール編集装置における電子メール編集方法であって、解析手段によって、入力する文書情報を解析し、前記文書情報を構成する要素である文書構成要素を抽出する解析工程と、操作表示手段によって、前記入力する文書情報を前記解析工程によって抽出される文書構成要素単位で表示する入力モジュール、および電子メールの編集画面を表示する電子メールモジュールの２つの表示モジュールを表示する表示工程と、前記表示工程で表示される前記入力モジュールの文書構成要素に対して、表示する前記電子メールモジュールの表示画面から、編集および各種の設定を受け付ける受付工程と、前記受付工程が前記電子メールモジュールの表示画面から受け付けた前記編集および各種の設定に基づいて、前記文書構成要素に対して編集処理を施す編集工程と、前記表示工程で表示される電子メールモジュールの内容を電子メールで送信する送信工程と、を含み、前記表示工程は、前記編集工程によって前記文書構成要素に施された編集および設定処理の結果を、前記電子メールモジュールに表示するものであり、前記送信工程は、前記入力する文書情報を電子ファイルとして前記電子メールに添付して送信するものであることを特徴とする。

【手続補正２７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３２
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正２８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３３】
請求項２３にかかる発明は、プログラムにおいて、請求項２２に記載の電子メール編集方法をコンピュータに実行させることを特徴とする。

【手続補正２９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３５】
請求項１にかかる発明によれば、入力する文書情報を電子ファイルとして電子メールに添付して送信することによって、入力してそのまま電子メールとして送信できるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正３０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３６】
請求項１にかかる発明によれば、電子メールモジュールの表示画面からも編集および各種の設定を、さらに、受け付けて編集処理を施すことによって、電子メールモジュールの表示画面からも電子メール編集を行うことができるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正３１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３７】
請求項２にかかる発明によれば、入力モジュールおよび電子メールモジュールを、並列して表示することによって、入力する文書情報と編集する電子メール画面とを目で見て比較しながら電子メールを編集することができるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正３２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３８】
請求項３にかかる発明によれば、原稿を読み込んで文書情報を生成することによって、読み込んだ原稿を使用して電子メールを編集することができるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正３３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００３９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００３９】
請求項４にかかる発明によれば、文書情報を、文字、写真画像、中間調画像、図表画像、およびその他の属性のうちいずれの属性の文書構成要素からなるかを解析することによって、文書情報を属性ごとに領域抽出した文書構成要素を電子メール編集することができるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正３４】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
請求項５にかかる発明によれば、文書情報を、２つの表示モジュールにおいて、文書構成要素単位で配置することによって、文書情報を属性ごとに領域抽出した文書構成要素を電子メール編集することができるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正３５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４１】
請求項６にかかる発明によれば、入力モジュールに表示される文書構成要素単位で、電子メールモジュールの電子メール本文に配置することによって、文書構成要素ごとに電子メールを編集することができるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正３６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４２】
請求項７にかかる発明によれば、入力モジュールに表示される文書構成要素単位で、電子メールにファイルとして添付して添付ファイル付きで電子メール送信することによって、本文およびファイル添付による電子メール送信できるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正３７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
請求項８にかかる発明によれば、文書構成要素の占める領域を表示する領域表象を表示することによって、電子メール編集において視認しやすい形態で表示するので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正３８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４４】
請求項９にかかる発明によれば、領域表象を、それぞれの文書構成要素を囲む矩形によって表示することによって、電子メール編集において視認しやすい形態で表示するので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正３９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４５

【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４５】
請求項１０にかかる発明によれば、入力モジュールで表示される文書構成要素を、電子メールモジュールへ挿入する挿入要求を受け付けた場合、挿入要求を受け付けた要素の順番に基づいて、電子メールモジュールでの画面に配置させることによって、配置の順序を意識することなく電子メールを編集できるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正４０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４６】
請求項１１にかかる発明によれば、入力する文書情報のうち、文字情報を電子メールモジュールでの本文画面に配置することによって、文字情報を自動的に電子メールの本文として配置できるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正４１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４７】
請求項１２にかかる発明によれば、入力する文書情報のうち、文字情報以外を、電子メールモジュールでの添付ファイルに生成して添付して送信することによって、送信するファイル容量を抑えることができるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正４２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４８】
請求項１３にかかる発明によれば、文字情報を、画像情報の形式で電子メールモジュールでの添付ファイルに生成して添付して送信することによって、例え文字認識の程度が低くて本文の正確度が低い場合であっても、画像情報で当該文字情報を読み取ることができるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正４３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４９】
請求項１４にかかる発明によれば、電子メールに添付される添付ファイルのアイコン情報を生成して電子メールモジュールに表示することによって、編集作業においてより視認しやすく、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正４４】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５０】
請求項１５にかかる発明によれば、入力モジュールで表示される文書構成要素を、本文画面に配置する要求や添付ファイルを生成して添付する要求を、ドラッグアンドドロップ操作によって受け付けることによって、簡易な操作で電子メールを作成できるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正４５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５１】
請求項１６にかかる発明によれば、本文画面に配置する要求およびファイルとして添付する要求を、入力モジュールの表示において、それぞれシングルクリック操作およびダブルクリック操作によって受け付けることによって、簡易な操作で電子メールを作成できるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正４６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５２】
請求項１７にかかる発明によれば、本文画面に配置する要求およびファイルとして添付する要求を、入力モジュールの表示において、それぞれダブルクリック操作およびシングルクリック操作によって受け付けることによって、簡易な操作で電子メールを作成できるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正４７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５３】
請求項１８にかかる発明によれば、電子メールモジュールの本文に画像が配置されていると判定する場合、電子メールをＨＴＭＬ形式で送信し、かつ、テキスト情報のみであると判定する場合、電子メールをテキスト形式で送信することによって、電子メールの内容に好適なファイル形式で送信できるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正４８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５４】
請求項１９にかかる発明によれば、文書情報から電子メールアドレス情報を解析して送信者および受信者のリスト情報に書き込むことによって、自動的に送受信者のリストが更

新されるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正４９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５５】
請求項２０にかかる発明によれば、文書情報から送信先の電子メールアドレス情報を解析して送信先の電子メールアドレスに、電子メールを送信することによって、自動的に送信者を選択して送信するので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正５０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５６】
請求項２１にかかる発明によれば、読取手段で入力する文書情報を解析して文書構成単位で表示する入力モジュール、および電子メールの編集画面を表示する電子メールモジュールの２つの表示モジュールを表示し、入力モジュールの表示から編集および各種の設定を受け付けて編集処理を施し、電子メールモジュールに表示し表示する内容を電子メールで送信することによって、操作者は入力する文書情報を見ながら電子メールを作成して送信することができるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができる画像形成装置を提供することができるという効果を奏する。
【手続補正５１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５７】
請求項２１にかかる発明によれば、入力する文書情報を電子ファイルとして電子メールに添付して送信することによって、入力してそのまま電子メールとして送信できるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができる画像形成装置を提供できるという効果を奏する。また、請求項２１にかかる発明によれば、電子メールモジュールの表示画面からも編集および各種の設定を、さらに、受け付けて編集処理を施すことによって、電子メールモジュールの表示画面からも電子メール編集を行うことができるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができる画像形成装置を提供できるという効果を奏する。
【手続補正５２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５８】
請求項２２にかかる発明によれば、入力する文書情報を解析して文書構成単位で表示する入力モジュール、および電子メールの編集画面を表示する電子メールモジュールの２つの表示モジュールを表示し、入力モジュールの表示から編集および各種の設定を受け付けて編集処理を施し、電子メールモジュールに表示し表示する内容を電子メールで送信することによって、操作者は入力する文書情報を見ながら電子メールを作成して送信すること

ができるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正５３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５９】
請求項２２にかかる発明によれば、入力する文書情報を電子ファイルとして電子メールに添付して送信することによって、入力してそのまま電子メールとして送信できるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。また、請求項２２にかかる発明によれば、電子メールモジュールの表示画面からも編集および各種の設定を、さらに、受け付けて編集処理を施すことによって、電子メールモジュールの表示画面からも電子メール編集を行うことができるので、利便性および操作効率の高い電子メール編集を行うことができるという効果を奏する。
【手続補正５４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６０】
請求項２３にかかる発明によれば、プログラムにおいて、請求項２２に記載の電子メール編集方法をコンピュータに実行させることができるという効果を奏する。